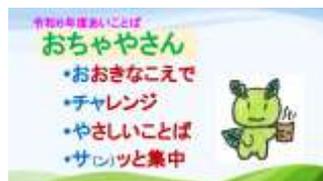


みどりの風



令和6年9月11日発行 No.9
校長 池田 誉

多くを学んだ宿泊体験学習

8月22・23日の2日間、5・6年生が津黒高原で1泊2日の宿泊体験学習を行いました。この行事は、豊かな自然の中で、普段できない体験や集団生活を経験することを通して、実践力や社会性などを伸ばすことを目的に隔年で行っています。

特に5年生にとっては初めての宿泊行事となりましたが、全員元気に参加し、様々な活動を行いました。

1日目の午前中は「竹パン作り」を行いました。竹に巻きつけたパン生地を焼いて食べるために、自分たちで薪を割り、竹を切り、火を起こして焼くなど、多くの作業を体験できました。おいしく焼き上がった竹パンをみんな満足そうに食べていました。



午後は、川遊び体験を行いました。自然豊かな中和地域でしかできない体験です。今回は、真庭市郷育魅力化コーディネーターで、5月の「富原っ子みらい会議」で進行役をしてくださった大岩功さんに指導をお願いしました。

インストラクターの方の後について、川を上流に向かって歩いていきます。流れが急なところもありましたが、気をつけながら進んでいくと、小さな滝のようになっている場所に着きました。その下は少し深くなっており、飛び込むのにちょうどよい深さになっています。最初はこわがっていた子どもたちも、やってみると楽しいことに気づき、何回も飛び込んでいました。

宿舎に帰ってお風呂に入ってから、楽しみにしていた夕食タイム。1枚の皿にいろいろな種類のおかずがきれいに盛り付けられていて、目でも楽しみながらおいしくいただきました。



夕食後は外に出て星空観察と花火を楽しみ、9時半に消灯して1日目の活動を終わりました。



2日目は6時半に起床し、ラジオ体操をしてから朝食をいただきました。そして、自分たちの使ったところを中心に、宿舎のそうじをしました。みんなで仕事を分担し、それぞれの場所をきれいにしようと一生懸命働きました。

荷物を整理してから、近くの「津黒いきものふれあいの里」に移動し、館長の雪江さんのご指導で「クラフト体験」をしました。近くの山でとれた木の実や枝などを思い思いに組み合わせて、作品を作りました。2日間の研修の思い出の一つになりました。

そして、いよいよ楽しみにしていた「冒険の森」でのアスレチック体験です。高い木と木の上に設置されたロープやはしご、丸太などを渡っていき、最後はロープ上を滑車にぶらさがって地上に滑り降ります。最初はこわがっていた子どもたちでしたが、徐々に慣れてチャレンジする楽しさを味わっていました。



昼食は自分たちでカートンドッグを作りました。牛乳パックを燃やして作るホットドッグなので、簡単に作ることができました。思い思いに味付けをして食べていました。

最後の活動は、近くの川での「水辺の生き物観察」でした。川に入って、網で多くの魚や水生昆虫などを捕まえました。集まった生き物について雪江館長に教えていただきました。富原の川でも生き物観察の経験がある子どもたちですが、きれいな水にすむ生き物について熱心に観察していました。



とても暑い中での2日間の研修でしたが、5・6年生12人は、前向きにチャレンジし、協力して過ごすことができました。これからの生活に生かせる知識や経験を得るとともに、小学校生活の大きな思い出の一つになったことでしょうか。お世話になった方々、保護者の皆様に感謝申し上げます。